

Ⅱ 事業

1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービス等を継続して行っています。28年度は関係部署と連携し、「第三次粕江市子ども読書活動推進計画」の策定に取組み(43 ページ参照)、29年度からの5年間は、この計画に基づいて、さらに子どもの読書活動に関する環境整備に努めます。

<おはなし会>

子ども向けのおはなし会は、開館当初から実施しており、子どもと本の出合いをつくる機会として今日まで継続しています。市内のおはなしグループの協力を得ながら、平成9年 10 月には乳幼児の親子を対象としたおはなし会も開始し、12 年度にはさらに対象年齢を分けて回数を増やしました。七夕やクリスマスなど季節のおはなし会や土曜日開催のおはなし会など、さまざまな機会をつくっています。

		子どもおはなし会	親子で楽しむおはなし会		土曜日おはなし会(※)
開催日		毎週水曜日	第 2・4 木曜日		不定期土曜日
対 象		4 歳から小学生	0・1 歳児と保護者	2・3 歳児と保護者	乳幼児と保護者
実施回数		48 回	23 回	23 回	6 回
参加人数	子ども	331 人	268 人	275 人	58 人
	保護者	154 人	255 人	216 人	49 人
	1回平均	7 人(子ども)	12 組	12 組	10 人(子ども)

※ただし、土曜日に開催した特別おはなし会は除く(イベント・講座に記載)



＜イベント・講座＞

こどもの読書週間や夏休み等に合わせてイベントを実施し、図書館や本に親しむ機会をつくっています。

事業名	日程	内 容	参加人数
科学あそび	8 月 5 日	「ふしぎないろみず 紫キャベツの実験」(全2回) 講師:塚原 博さん(科学読物研究会会員)	36 人
子ども 図書館員	7 月 26 日～29 日	子ども一日図書館員 貸出・返却業務や図書装備を体験	7 人
特別 おはなし会	7 月 13 日	「夏のこわ～いおはなし会」 語り:狛江おはなしの会くーすけ、佐藤涼子さん	61 人
	3 月 8 日 (公民館のつどい)	「絵本で遊ぼう! アニメーション」 図書館職員、中央公民館職員	21 人
	3 月 25 日	「おはなしおばさんの玉手箱」	午前 100 人
		講師:藤田 浩子さん(語り手、幼児教育者)	午後 38 人

子ども読書の日（4月23日）

毎年、この日に合わせて推薦児童図書リストを発行し対象図書の展示をしています。また、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」としてさまざまな企画事業も実施しています。28年度は「絵本キャラクターグランプリ」と「ひみつのこづつみ」を実施しました。



＜ひみつのこづつみ＞

どんな絵本が入っているか、お楽しみ！

科学あそび（夏季）

夏休み中の小学生を対象として、ゲストティーチャーによる簡易な科学実験や科学工作を楽しむ教室を開催しています。テーマに合わせた知識絵本や科学読み物も紹介します。

子ども図書館員（夏季）

小学校4～6年生を対象に、図書館の仕事を体験するイベントを実施しています。

特別おはなし会

おはなしおばさんとして全国でおなじみの藤田浩子さんをお招きして、楽しいおはなしの小道具を使ったあそびの会や福島弁で語る昔話を聴く会を開催しています。また28年度は、午後の部にセカンドブック対象者向けの特別イベントとして実施しました。

◆こどもの読書週間企画「絵本キャラクターグランプリ」

〔開催日時〕 平成 28 年4月 16 日(土)～5月9日(月)

〔開催場所〕 図書館内絵本コーナー

〔参 加 者〕 投票総数 194 票

<上位5作>

1 位	バムとケロ 『バムとケロのにちようび』他	42 票
2 位	そらめくん 『そらめくんのベッド』他	18 票
3 位	ぐりとぐら 『ぐりとぐら』他	15 票
4 位	ねこざかな 『ねこざかな』他	14 票
4 位	じょーじ 『ひとまねこざる』他	14 票

15 作品のシリーズ絵本のキャラクターから自分の好きなものを1つ選んで投票してもらいました。子どもだけでなく、幅広い年代の方の参加がありました。ダントツ1位の「バムとケロ」は、この期間中もシリーズ作品の貸し出しや予約が多く見受けられ、その結果が 28 年度の絵本貸出数のベストリーダーにも表れています(29 ページ参照)。

6月に開催した土曜日おはなし会では、「バムケロおはなし会」と名付けて実施しました。



◆特別おはなし会「夏のこわ～いおはなし会」

〔開催日時〕 平成 28 年7月 13 日(水) 午前 11 時～正午

〔開催場所〕 中央公民館 視聴覚室

〔参 加 者〕 幼児～小学校3年生 61 人

〔語 り 手〕 佐藤 涼子さん、狛江おはなしの会くーすけ 他

【プログラム】

ひのたまかぞえた 『かぞえたのほん』より

もりのおばけ かたやまけん作 福音館書店

やまぶしぎつね 秋田の民話

おばけの森 藤田浩子作 一声社

ミアッカドン 『イギリスとアイルランドの昔話』より

マブイを取りもどす話 沖縄の民話

魔女のシチュー 『明かりが消えたそのあとで』より



部屋を暗くして、手作りのお化けランタンで雰囲気づくり。

＜図書展示＞

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行ったりして、いろいろな本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

期間	テーマ	設置場所
4/1～4/15	絵本キャラクターグランプリ	1階ロビーショーケース
4/16～5/9	絵本キャラクターグランプリ(投票箱設置)	児童コーナー展示架
4/12～4/30	地震に備えよう	児童コーナー展示架
5/25～6/19	このほんしってる？2016 図書館がすすめる本	児童コーナー展示架
7/4～7/7	七夕の本	児童コーナー展示架
7/20～8/29	夏休み課題用参考図書	児童コーナー特設
7/20～8/8	絵ずかんでわくわくはっけん！自由研究のタネ	児童コーナー展示架
8/1～8/15	作って遊ぼう！手づくりおもちゃ 芳賀哲さんの本	1階ロビーショーケース
8/10～8/29	戦争と平和を考える子どもの本	児童コーナー展示架
9/7～9/20	点字ってなに？	児童コーナー展示架
10/12～11/7	ようこそ絵本レストラン	児童コーナー展示架
10/19～10/31	ハロウィンの本	児童コーナーミニ展示
11/16～12/25	クリスマスの絵本	児童コーナー展示架
12/28～1/23	お正月・とりの本	児童コーナー展示架
1/25～2/27	ぽかぽか絵本であったまろう	児童コーナー展示架
1/26～2/7	節分・鬼の絵本	児童コーナーミニ展示
2/15～3/3	ひなまつりの本	児童コーナー展示架
3/4～4/3	春のえほん 入学・入園おめでとう！	児童コーナー展示架



＜子ども図書館員によるおすすめ本の紹介＞

折り紙で作ったひまわりの花に書きました



＜推薦児童図書リストの発行＞

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館等へも配布しています。28年度からは「このほんしってる？」に掲載の推薦図書コーナーを設置し、幅広い年齢層に利用されています。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2016 (幼児から小学生まで)	年1回発行	前年に刊行された児童図書や絵本の中から選定して紹介。
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	平成27年3月発行	読み継がれた基本図書を中心に学年別に選定して紹介。(24年の改訂版)
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成22年3月発行	読み継がれた優良絵本を中心に選定して紹介。
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	平成22年1月発行	3・4か月児健診で実施のブックスタート時に配布。



＜絵本の貸出ベストリーダー10＞

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	おばけのてんぷら	せな けいこ／作・絵	ポプラ社
2	ぐりとぐら	なかがわ りえこ／作	福音館書店
3	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン／さく	岩崎書店
4	おばけでんしゃ	内田 麟太郎／文	童心社
5	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか／作・絵	文溪堂
6	14 ひきのあさごはん	いわむら かずお／さく	童心社
7	すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー／さく	偕成社
8	バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか／作・絵	文溪堂
9	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか／作・絵	文溪堂
10	バムとケロのにちようび	島田 ゆか／作・絵	文溪堂

＜学校図書館への協力貸出＞

市内小・中学校の各学校図書館を窓口に関力貸出を行っています。毎週1回 FAX による貸出依頼の受付のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。28 年度は 84 回実施しました。

小学校名	狛江 第一小	狛江 第三小	狛江 第五小	狛江 第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	851	502	650	1,870	1,074	777	5,724
(内学級文庫)	(0)	(0)	(0)	(0)	(300)	(0)	(300)

中学校名	狛江 第一中	狛江 第二中	狛江 第三中	狛江 第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	252	978	509	138	1,877	7,601

＜職場訪問・職場体験＞

小学校の地域探検や公共施設見学、中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所等の職場で、実際に仕事を体験する事業を受け入れています。図書館では、職場体験の「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取る」等の目的が達成できるように支援するとともに、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進につながるような様々な内容でプログラムを組んでいます。また、28 年度は教職員に図書館業務を体験してもらう機会を持つことができました。



学校名	学年	人数	実施日	日数	内容
狛江第一小学校	2年生	115人	7月12日	1日	施設見学(施設案内、利用指導)
狛江第三小学校	2年生	82人	9月27日	1日	施設見学(施設案内、利用指導)
狛江第五小学校	3年生	87人	9月9日	1日	施設見学(施設案内、利用指導)
狛江第一中学校	2・3年生	4人	12月1日～2日	2日	職場体験(窓口業務、図書装備等)
狛江第二中学校	1年生	4人	2月7日～9日	3日	職場体験(窓口業務、図書装備等)
狛江第三中学校	2年生	3人	6月8日～10日	3日	職場体験(窓口業務、図書装備等)
狛江第四中学校	2年生	4人	7月13日～15日	3日	職場体験(窓口業務、図書装備等)
狛江第四中学校	1年生	6人	12月9日	1日	職場訪問(施設案内、インタビュー)
狛江第三小学校	教員	2人	8月23日～25日	2日	異業種研修(窓口業務、図書装備等)

<ヤングアダルト (YA) >

12歳から18歳の中学生・高校生を中心とした世代をヤングアダルト(YA)と呼び、世代の特性を考えながら、図書館に親しんでもらえるよう図書を選定してコーナーを設置しています。YAコーナーでは、YA用の新着図書を展示しているほか、情報交換ノートやおすすめ本投稿BOXを置き、利用者同士交流を図るとともに、YA世代の好みなどの情報収集をする機会を作っています。

◆おすすめ本紹介POP募集・展示

読書週間に合わせ、YA部門と成人部門(19歳以上)それぞれで、おすすめ本紹介POPを募集しました。応募作品については、紹介本と合わせて展示をし、図書館ホームページにも掲載しました。

[募集期間]

平成28年10月16日(日)～11月30日(水)

[作品・図書展示]

平成29年1月5日(木)～3月27日(月)

[展示場所]

一般展示コーナー・掲示板

図書館ホームページにて



POP 展示の様子

2 読書の楽しさを知るきっかけづくり

<ブックスタート>

ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることを目的とした事業です。

狛江市では、司書とブックスタート説明員が3・4か月児健康診査会場でブックスタートを行っています。実際にその場で説明員が赤ちゃんに对面で読みきかせを行い、絵本1冊と「絵本リスト」などを、贈呈しています。

29 年3月には、ブックスタート会場での展示に、見本として「じゃあじゃあびりびり」の点字本を加えました。この点字本は赤ちゃんや保護者が通常の絵本の使用が難しい場合に、ブックスタート協会を通じて用意し、贈呈することができます。その他のタイトルの点字本の希望があった場合は、当市の図書館ボランティアを通じて、点字を貼付して対応しています。

ブックスタート配布絵本（内訳）

絵本タイトル	冊数
『いないいないばあ』（童心社）	181 冊
『じゃあじゃあびりびり』（偕成社）	162 冊
『くっついた』（こぐま社）	159 冊
『がたんごとん』（福音館書店）	206 冊
『くだもの』（福音館書店）	38 冊

ブックスタート配布絵本の推移

24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
607 冊	639 冊	677 冊	701 冊	746 冊



ブックスタートパック

<セカンドブック・サードブック>

小学校に入学する幼児に対し、読書の楽しさを知るきっかけづくりと、自発的な読書活動につなげることを目的として、セカンドブック事業を実施しています。司書がおすすめする本の中から1冊を子ども自身に選んでもらい贈呈しています。

また、28 年度から新たに、中学校へ入学する児童に対して本を1冊贈呈するサードブック事業を開始しました。子どもたちが改めて本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長できるような本を贈呈しています。

28 年度はインターネットから申込みをできるようにし、なかなか来館できない方にも配慮しました。

本の贈呈は、3月の贈呈会から6月末までに申し込みのあった子どもたちに行っています。また、贈呈会に先行して、全ての本を読んでゆっくり本を選びたい方や当日贈呈会に参加できない方のために、2月1日から3月 26 日まで中央図書館及び市内の各図書室において、セカンドブック・サードブック対象本の展示を行いました。



29年4月に入学する子どもを対象にしたセカンドブック、サードブックでは、セカンドブック対象者 337 人、サードブック対象者 226 人に贈呈しました。(29年3月31日現在)
引き続き申し込みのあった方へ贈呈していきます。

28年4月に入学した児童を対象にしたセカンドブックの贈呈内訳と、サードブック対象本は次のとおりです。



セカンドブック対象本

【28年4月入学者セカンドブック贈呈内訳】

平成 28 年6月 30 日最終集計

タイトル	冊数	タイトル	冊数
『ちからたろう』(ポプラ社)	17 冊	『なぞなぞのすきな女の子』(学研)	74 冊
『こねこのぴっち』(岩波書店)	33 冊	『1 ねん 1 くみ 1 ばんワル』(ポプラ社)	59 冊
『ひとまねこざる』(岩波書店)	62 冊	『番ねずみのヤカちゃん』(福音館書店)	36 冊
『ろくべえまってるよ』(文研出版)	18 冊	『ふたりはともだち』(文化出版局)	29 冊
『すいかのたね』(福音館書店)	19 冊	『ダンゴムシみつけたよ』(ポプラ社)	47 冊
『わにのはいた』(大日本図書)	25 冊	『ぼく、あぶらぜみ』(福音館書店)	18 冊
		合計	437 冊

【サードブック対象本一覧】

『考える練習をしよう』(晶文社)	『精霊の守り人』(偕成社)
『武器より一冊の本をください』(金の星社)	『竜馬がゆく 1 立志篇』(文藝春秋)
『エンデュアランス号大漂流』(あすなろ書房)	『ねらわれた星』(理論社)
『素数ゼミの謎』(文藝春秋)	『よりぬきマザーグース』(岩波書店)
『生活図鑑』(福音館書店)	『弟の戦争』(徳間書店)
『いのちの食べかた』(イーストプレス)	『マチルダは小さな大天才』(評論社)
『ポケット詩集』(童話屋)	『種をまく人』(あすなろ書房)
『羅生門 杜子春』(岩波書店)	『星の王子さま』(岩波書店)

サードブック対象本



◆平成 28 年度セカンドブック・サードブック事業贈呈会

〔開催日〕 平成 29 年 3 月 24 日(金)～26 日(日)

〔場 所〕 市民センター 地下ホール

〔対象者〕

29 年度小学校第一学年相当の幼児 583 人

29 年度中学校第一学年相当の児童 595 人

(平成 29 年 1 月 1 日時点)



贈呈会では、子どもたちが実際に手にとって本を選ぶよう展示を行い、希望した本をその場で直接贈呈しています。



また、開催期間中の 25 日、26 日には同じ会場内で、司書による「対象本の紹介のじかん」を開催しました。それぞれの対象本の紹介や読み聞かせ、シリーズ関連本の紹介を行いました。セカンドブック 258 人、サードブック 158 人の方に贈呈することができました。

◆特別イベント おはなしお婆さんの玉手箱～藤田浩子さんのおはなし会～

〔開催日〕 平成 29 年 3 月 25 日(土) 午後 2 時～4 時

〔場 所〕 市民センター 地下ホール

例年特別おはなし会のゲストとしてお招きしている藤田浩子さんにご協力いただいて、セカンドブック対象の幼児と保護者向けに特別イベント「おはなしお婆さんの玉手箱」を開催しました。

当日会場に集まった 38 人は、ストーリーテリングを中心とした演目に、笑いが起こる場面もありました。藤田さんの優しい歌声を交えた語りに、みな聴き入っている様子で、和やかな時間となりました。小学校入学を祝った内容の折り紙話には、保護者も



3 成人へのサービス

さまざまな成人の利用者の情報要求に応えるため、資料を選定・提供しています。また、時事や季節に応じた図書展示や事業を行い、読書推進を図っています。

事業としては、読書週間に合わせ、図書館マナーアップキャンペーンを11月2日から28日まで行いました。図書館入り口付近で「本が泣いています」展示として汚破損本を見ていただくとともに、オリジナルしおりを配布、職員がキャンペーンリボンを着用するなどして、利用マナー向上の呼びかけを行いました。

また昨年に引き続き、おすすめ本紹介POPの募集と展示を行いました。(31 ページ参照)

<図書展示>

期間	テーマ
4/20～5/23	アナタの新生活、応援します！
4/20～5/9	地震に備えよう
5/1～5/30	あたらしい憲法の本～5月3日憲法記念日に寄せて～
5/25～6/19	明日天気になあれ！
6/15～7/18	意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。(男女共同参画週間)
7/20～8/22	オリンピックを応援しよう！
8/3～8/29	平和を求めて 2016 ～この1年間の受入図書・語り継ぐ戦争
8/31～10/3	睡眠、足りてますか？
9/14～9/26	月の本
10/5～11/14	ステキな本と出合える場所は…
11/16～12/26	クリスマスを待ちながら…
12/1～12/12	利用支援サービスについて(障がい者週間)
12/14～12/28	忙しい年末年始、本で乗り切りましょう！
12/19～1/30	だしの本(『ガクチキ(狛江の教育)』関連展示)
1/5～1/30	タイムトラベル !!
1/5～3/27	発表！おすすめ本紹介 POP
2/1～2/27	ワンワン ニャンニャン
3/1～4/3	3.11 東日本大震災から6年
3/8～4/3	お世話になったあの人へ

<発行物>

発行日	タイトル
11月18日	「こまえ図書館だより 第63号」
2月3日	「こまえ図書館だより 第64号」

9/14～9/26 『月の本』



11/16～12/26

『クリスマス待ちながら…』



12/14～12/28

『忙しい年末年始、本で乗り切りましょう!』



1/5～1/30 『タイムトラベル!!』



2/1～2/27 『ワンワン ニャンニャン』



4 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを行っています。27年度に作成した「利用支援サービスごあんない」を改定し、よりわかりやすいものにしました。そして障がい者週間に合わせて館内に展示コーナーを設置し、利用支援サービス事業の周知に努めました。

録音資料の製作では、テキストDAISYの本実施に向けて実技講習会を行うなど、定期的に資料が出来上がるような仕組みづくりを目指しています。

高齢者施設への大活字本の配達は、昨年度から1施設増え5施設に行いました。なお利用者の意見を反映させた資料構成は好評をいただいています。

市民向け講演会では、講師に渡辺順子さんを迎え「心のバリアフリーをめざして 広がり深まる布の絵本」を開催しました。

<市民向け講演会>

さまざまな障がいを抱える子どもたちのために作られた布の絵本は、現在障がいのあるなしに、また大人子どもに関わらず、交通事故や怪我、脳梗塞などによる言語喪失や手指機能の回復などにも活用され、「すべての人」に有用とされています。東京布の絵本連絡会代表の渡辺順子さんを講師としてお招きし、布の絵本の特質、役割、公共図書館が所蔵する意義などをお話しいただきました。

◆心のバリアフリーをめざして 広がり深まる布の絵本の世界

【開催日時】 平成 29 年3月5日(日) 午後2時～4時

【開催場所】 防災センター401・402・403

【参加者】 18人



手芸が好きで布の絵本に興味があるという方から、現在ボランティアで活動されている方などさまざまな方が参加されました。障がいを抱える親子の図書館の利用しづらさには「心のバリア(障壁)」があるというお話を、布の絵本の読み聞かせの実演も交えて語っていただきました。布の絵本を通して「心のバリアフリー」、「ノーマライゼーション」について考える講演となりました。

<点訳講習会>

視覚障がい者や点字について理解を深める機会として、全3回の講習会を開催しました。1日目、2日目は前半に講義、後半に実技、3日目は絵本『ちょうちょうひらひら』の点訳作業を行いました。講師には点字技能師の伊藤聡子さんをお招きしました。

◆点訳体験 絵本を点訳してみよう

〔開催日時〕 平成 28 年9月 28 日(水)10 月5日(水)10 月 12 日(水)午前 10 時～正午

〔開催場所〕 中央公民館 講座室

〔参加者〕 16 人



参加された方々は、点字に法則があり、その例外が多いことに戸惑いながらも、楽しみながら課題をこなしていました。絵本の点訳は、ほとんどの方が自身の担当ページを完成させることができました。講習会終了後、講師からひとりひとりに点字で書かれた修了証が手渡され、受け取る際には拍手がおこっていました。

<音訳講習会>

音訳協力員のスキルアップのため、テキストDAISY講習会を開催しました。講師に株式会社東芝インダストリアルICTソリューション社より黒田由加さんをお招きし、音訳エディタDaisyRingsの操作方法を実際に操作しながら学びました。

◆テキストDAISY講習会

〔開催日時〕 平成 29 年2月 14 日(火) 午後2時～4時

〔開催場所〕 中央図書館貸出室(児童閲覧スペース)

〔参加者〕 9人



29 年度からボランティアでのテキストDAISY製作を予定しているため、本講習会は午前中に開催されたボランティア養成講座(講師:小畑 信夫氏「図書館ボランティアってなあに?」)と併せて開催しました。受講者は普段使用している音訳ソフトに関することも含め、講師に様々な点から質問をして積極的に取り組んでいる姿が見受けられました。講習会の中で、パソコンでの合成音声を用いた音訳資料の製作には、今まで培ってきた技術や経験を活かせることを受講者に伝えることができました。今後のテキストDAISYの製作は、図書館だよりなどの作業量が少ないものから始め、単行本などの音訳もできるよう準備を進めて行きます。

＜高齢者施設への配本＞

28 年度は、歴史や美術の本を数冊入れた構成で計 690 冊お届けしました。昭和の写真が掲載されている資料は人気で、昔を懐かしみながらご利用いただいているようです。大活字本は時代小説などが喜ばれており、今後も積極的にセット構成に組み込む予定です。29 年度は料理や手芸などの本も試験的に導入する予定です。

配本施設名	冊数	配本日
狛江共生の家	150 冊	5/7(配本のみ)
こまえ苑	150 冊	
グランド狛江	150 冊	
グランド狛江参番館	150 冊	7/5、9/6
ラヴィーレ狛江 (28 年 9 月より開始)	90 冊	11/8、1/10
		3/7(回収のみ)

＜利用支援サービス事業実績＞

対面朗読や録音資料製作をしている協力員は、市民グループとして活動している「狛江朗読ボランティアグループ」と「音訳いれぶん」の所属メンバーです。現在は協力員として毎年個々に登録しています。28年度は、来館して録音資料を受け取る利用者が増えたため、宅配の件数が27年度より減少しています。利用者のライフスタイルやご要望に合わせ、各資料の量や内容を調節できるようきめ細やかなサービスに努めています。

◎ 28 年度利用登録者数（複数登録あり）

登録サービス名	登録者
録音資料の貸出	14 人
点訳資料の貸出	3 人
視覚障害者用情報機器の貸出	9 人
対面朗読	13 人
宅配サービス	9 人

◎ 宅配サービス実績

	配本回数	タイトル数
録音資料	6 回	17
点字資料	0 回	0
その他	24 回	89
合計	30 回	106

※その他には狛江市所蔵の CD、カセットを含む

◎ 登録協力員数

音訳者	14 人
対面朗読者	15 人

◎ 対面朗読実績

延べ回数	9 回
時間数	18 時間

◎ 録音資料・点訳資料

28 年度は公益財団法人伊藤忠記念財団よりわいわい文庫(マルチメディア DAISY 図書)を寄贈していただきました。

① 蔵書数

(単位:タイトル数)

	総数	うち 28 年度		
		製作	購入	寄贈
カセットテープ・CD	223	0	0	0
DAISY	221	1	0	4
点字資料	47	0	0	0

② 貸出件数

(単位:タイトル数)

	カセットテープ CD	DAISY	点字資料
個人への 貸出	23(22)	41(40)	0
他市区等 への貸出	0	4	0

※カッコ内は相互借受分

5 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスを目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの存在は必要不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて、図書館をより理解していただけるような取組みになることを願っています。

<市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会や布の絵本、点訳資料の製作など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたって協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービス向上に努めています。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	13 人
資料製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	7 人
	狛江絵本点訳の会コスモス	平成 25 年 4 月	10 人



<はなみずき製作の「ぬいぐるみ 16 ぴきのりゅう」>

<図書館ボランティアの養成>

平成 22 年 10 月、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。28 年度は、主に新聞記事のクリッピングについて活動していただける方の増員を目的として養成講座を実施しました。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	① 資料の補修や破損修理など	126 日、596 冊を修理 (週 3 日、1 回 3 時間程度)	10 人
	② 比較的軽微な破損修理など	75 日、1,987 冊を修理 (週 2 日、1 回 3 時間程度)	8 人
館内整理	新聞・雑誌の整理整頓、書架整理	239 日 (開館前 1 時間程度)	9 人
資料整理	地域関連記事のクリッピングなど	38 日 (月 3 日、1 回 2 時間半程度)	8 人

◆ 図書館ボランティア養成講座

〔開催日時〕 平成 29 年2月 14 日(火)・23 日(木)・28 日(火)
午前 10 時～正午、(28 日のみ午後1時 30 分～4時 30 分)
〔開催場所〕 粕江市民センター
〔参 加 者〕 図書館ボランティアに関心のある人 24 人
〔講 師〕 小畑 信夫さん(図書館・メディア研究所代表)

今回は、主に新聞記事のクリッピングについて活動していただける方の増員を目的に講座を実施しました。昨年同様、図書館でボランティア活動をするものの意義やその役割についての講義の後、クリッピングのノウハウについて実技研修を行いました。講座修了後、希望する人に登録をしてもらいました。



◆ 図書修理ボランティアのためのスキルアップ研修

〔開催日時〕 平成 29 年3月9日(木)・16(木) 午前9時 30 分～正午
〔開催場所〕 中央図書館内 地下作業室
〔参 加 者〕 図書修理ボランティア 6人
〔講 師〕 横溝 真由美さん

今回は、洋装本の基本修理を学びながら、製本の仕組みや道具類・糊の使い方を復習しました。厚みがあり紙の重さが負担になる本は、利用されることによって歪みや背の傷みが生じます。修理レベルとしては、中級者向けの内容で、一度の研修で習得できる技術ではありませんが、



「日々の活動で経験を積みながら上達していきたい」と、参加者からの意欲的な感想がありました。

6 その他の取組み

<図書館マナーアップキャンペーン>

中央図書館では、読書週間に合わせて図書館資料の利用マナー向上を目的としたキャンペーンを実施しました。これまでも破損した資料を展示する機会はありませんでしたが、今回は展示するだけでなく、利用マナーを呼び掛けるポスターの掲示や手作りのしおりも配布しました。積極的に利用者の皆さんに協力をお願いすると共に、期間中、図書館員が胸元にキャンペーンリボンを着用することで図書館員一人ひとりが自らの対応や取り扱いを省みる機会ともしました。

【取組みの概要】

テーマ： 図書館マナーアップキャンペーン 2016 ～本が泣いています～

期 間： 平成 28 年 11 月 2 日 (水) から 28 日 (月) まで

内 容： ①ポスター掲示
②オリジナルしおりの配布
③汚破損資料の展示
④キャンペーンリボンの着用

<オリジナルしおり>

7種類×750 枚作成



◆ 展示「本が泣いています」

〔展示期間〕 平成 28 年 11 月 2 日 (水) から 28 日 (月) まで

〔展示場所〕 中央図書館・出入口付近

図書館資料は、市民の大切な財産です。近年、残念ながら利用中の汚損や破損が目立つようになり、泣く泣く除籍処分する資料が増えています。そこで、傷ついた本や雑誌を展示し、利用マナー向上を呼び掛ける機会をつくりました。出入口付近に設置したことで、多くの方が足を止めてくださる様子が見られました。また、通りがかった図書館員に感想や意見を語り掛けてくださる方もいっしょに、この展示がコミュニケーションのきっかけとなりました。



＜第三次狛江市子ども読書活動推進計画＞

28 年度は、子ども読書活動等の推進に関する方針について示した第三次狛江市子ども読書活動推進計画(以下第三次計画という)を策定しました。

狛江市では 15 年 11 月に「狛江市子ども読書活動推進計画」、25 年3月に 29 年度までの5年間を計画期間として、第二次狛江市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。その後、国では 25 年5月、東京都では 27 年2月に第三次計画が策定されており、そうした状況を踏まえ、28 年7月から策定委員会を設置し、29 年3月に第三次計画を策定しました。

1. 計画の概要

子どもが読書活動に親しむとともに、成長や自らの興味に応じて本の楽しさを発見することで豊かな人間性や学び、考え、生きる力を育むことを目的としています。

【計画の期間】

平成 29 年度から平成 33 年度までの5年間

【計画の対象】

0歳からおおむね 18 歳まで



この第三次狛江市子ども読書活動推進計画ではこれまでの成果を踏まえ、下記の三点を継承し、教育委員会と子ども関連施設を所管する関係部局が連携して、さらに子どもの読書活動を推進する環境の整備に取り組んでいきます。

- ・ 乳幼児期からの読書活動の保護者への支援を推進
- ・ 「学びを支える学校図書館」の実現に向けた取組みの充実
- ・ 家庭、地域、学校等の連携による行政と市民との協働

2. パブリックコメント及び市民説明会について

第三次狛江市子ども読書活動推進計画策定にあたって、平成 29 年2月1日(水)から3月2日(木)までパブリックコメントを行い、市民説明会を実施しました。説明会では、計画の策定の経緯の説明や、学校図書館や地域グループの活動に関する実践報告を行いました。

【実施日時】

平成 29 年2月 12 日(日)
午後2時から3時 20 分まで
平成 29 年2月 16 日(木)
午後7時から8時 20 分まで



【説明会／実践報告の様子】

各地域センター図書室の取組み

実施日	取組みと内容	備考
4月1日～6月25日 6月23日～7月7日 7月4日	新1年生対象の推薦図書の展示 七夕かざり 短冊に子どもたちの願いごとを書いて笹につけてもらう 七夕おはなし会 パネルシアター「うみ」 絵本「たなばたプールびらき」「ぞうくんのさんぽ」 「びっくり水族館」「がたんごとんざぶんざぶん」 親子工作「タコさんをつくろう」	親子 150 人
7月17日～8月31日	夏休み課題図書等展示 夏休み課題図書・自由研究・工作等の展示を行う	
7月21日～8月4日 8月3日	図書室開室時間延長(試行)(午前10時より開室) 子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	4 人
10月2日～10月15日	リサイクル事業 センターまつりにて廃棄本の無料配布(2日) 図書室前にて廃棄本の無料配布(3日～)	900 冊
10月31日	仮装で楽しむおはなし会(協力:テラコヤ 3 リトルツリーズ) 親子工作「かぼちゃバックをつくろう」 絵本「きょうのおやつは」「ケーキやけました」 「ふしぎなキャンデー屋さん」「もうすぐハロウィン」	親子 120 人
12月12日	クリスマスおはなし会(協力:リトルツリーズ、テラコヤ 3) パネルシアター「あわてんぼうのサンタクロース」 親子工作「さんかくツリーのペーパークラフト」 絵本「さんかくサンタ」 紙芝居「こうさぎのクリスマスツリー」 「みつごのこぶたののクリスマス」	親子 130 人
1月5日～3月31日	セカンドブック対象図書の展示 サードブック対象図書の展示	

通年	別置・展示 新着図書紹介コーナー 絵手紙紹介コーナー 「このほんしってる？2016」紹介コーナー 「赤ちゃんに贈るファーストブック」紹介コーナー その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示 「ようちえん、がっこう」「おかあさん」「おとうさん」 「たべもの」「ハロウィン」「おばけ」 「ぼうけん」「どんぐり、枯葉」「クリスマス」 「とりどし、干支」「くま」「おひめさま」	
----	---	--

＜上和泉地域センター図書室＞

実施日	取組みと内容	備考
7月20日～8月27日	夏休み課題図書等展示	
7月21日～8月4日	図書室開室時間延長(試行)(午前10時より開室)	
8月3日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	1人
10月・3月	リサイクル事業(無料配布) センターまつりにて廃棄本(一般書)(10/9～) 図書室前にて廃棄本(雑誌)(3/1～)	860冊 375冊
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示	
1月25日～3月26日	セカンドブック対象図書の展示 サードブック対象図書の展示	
通年	書庫保管本のリストを作者別に掲示 緑野文庫(緑野小学校推薦図書)の展示 「このほんしってる？」展示 新着図書紹介コーナー 毎月テーマを決めて本(児童・一般)を展示	

＜岩戸地域センター図書室＞

実施日	取組みと内容	備考
7月1日～8月31日	夏休み課題図書等展示 関連図書の展示を行う	子ども 10人
7月21日～8月4日 7月30日	図書室開室時間延長(試行)(午前10時より開室) 夏休みこども教室 「思い出を飾る写真立てとフルーツポンチ」 関連図書の展示	
8月3日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	
10月16日～10月31日	リサイクル事業 岩戸地域センターまつりにて廃棄本の無料配布 (センターまつりに合わせて実施)	約400冊
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示	
1月25日～3月26日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
通年	本の展示 新着図書コーナー(一般・児童) 図書館で会える絵本(3～6歳に読んでほしい絵本) 小学生向け推薦図書の展示「読書のみちしるべ」 「このほんしってる?2016 幼児/1・2年/3・4年/5・6年」 その月の行事に合わせ関連する絵本を展示	

＜南部地域センター図書室＞

実施日	取組みと内容	備考
6月28日～7月7日	七夕かざり 短冊に願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月6日	子ども七夕会(協力:人形劇サークルぶんぶん) 人形劇「三びきの子ぶたのちよっとちがったはなし」 エプロンシアター「赤ずきんちゃん」 パネルシアター「七夕のおはなし」	子ども 70人 大人 30人
7月18日～8月31日	夏休み課題図書等展示 関連図書の展示を行う	
7月21日～8月4日 8月3日	図書室開室時間延長(試行)(午前10時より開室) 子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	4人
10月29日～11月7日	リサイクル事業 センターまつりにてリサイクル本の無料配布	737冊
12月9日	子どもクリスマス会 人形劇(協力:人形劇サークルスーパ) 「ちよっとだけまいご」 午前:乳幼児対象 午後:幼児～小学生低学年	午前: 親子 64人 午後: 子ども 73人 大人 22人
4月～3月 (7・8・12月は除く)	親子で楽しむおはなし会 小川美枝子さん(図書職員) 全9回実施	子ども 100人 大人 146人 平均 27人
1月25日～3月26日 通年	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示 本の展示 新着図書コーナー 絵本コーナーにその月の行事等に合せ、 関係する絵本を展示	

施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目 1 番 5 号 市民センター内 1F	1,310	一般 40 児童 10
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年 6 月 2 日	西野川一丁目 6 番 9 号 野川地域センター内 1F	108.0	12
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年 8 月 3 日	和泉本町四丁目 7 番 51 号 上和泉地域センター内 2F	131.7	12
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年 7 月 23 日	岩戸南二丁目 2 番 5 号 岩戸地域センター内 1F	86.6	2
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年 4 月 3 日	猪方四丁目11番 1 号 南部地域センター内 1F	119.0	10
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年 8 月 11 日	元和泉二丁目 35 番 1 号 西河原公民館内 1F	174.8	一般 45 AV 9
		03-3480-3201		

登録番号 H29-20

平成 28 年度図書館・図書室事業報告書

平成 29 年7月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館
〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3488)4414
<https://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 市内印刷

頒布価格 無償